

「家族」宣言 当社のサービス理念

日吉から始まり60余年、住まいの提供と町づくりに貢献してきました。

これからは良い住まいを探す以上に良い暮らしを過ごす時間にフォーカスし、その暮らしを支えていく「家族」として、当社はあり続けたい。

その思いを「家族宣言」に込めました。

エス・ケーホーム株式会社

〒223-0061 横浜市港北区日吉 2-1-6 TEL.045-562-0123

URL <http://www.skhome.co.jp> facebook www.facebook.com/skhome.jp

今月の誕生花の中から 「アマ（亜麻）」



花言葉

「あなたの親切に感謝します」

食用や油絵の具に使われる亜麻仁油は、亜麻の種から得られます。

Top Message

「食育」と「職育」

代表取締役 杉谷 拓紀



先月、仕事の関連で福井県へ視察に行く機会がありました。せっかく初めて訪れた福井なので、スケジュールの合間を見つけて永平寺へ足を運びました。大晦日の紅白歌合戦が終わると、「ゆく年くる年」が始まり必ず画面に登場する曹洞宗大本山の永平寺です。禅を中心に厳しい修行として広く知られていますが、なぜ厳しい修行をするのかを少し垣間見ることができました。

食事をする前に「いただきます」。どなたでも習慣づいている言葉ですが、その内にある心は、「命をいただきます」ということです。お米や野菜などなど、食するどんな作物にも生命があって、その命あるものを収穫して人は食べる。弱肉強食の頂点にいる人間は、すべて命あるものを食しているわけです。

宗祖道元禅師は、幼い頃に両親を亡くし、14歳で比叡山延暦寺に上り仏門に入りましたが、天台は、人は皆生まれながらに本来悟っているという教えなのに、なぜ厳しい修行をしなければ悟りが得られないのかという強い疑問を持ち、その疑問解決のために最終的には中国宋の国まで渡りました。4年ほどの宋滞在から戻った道元は、比叡山

からの迫害を受け、新たな道場を築くために1人の信徒の請いで福井へ向かうことになり、1244年に今の永平寺を開創します。「永平」の意味は「永久の平和」で、中国に初めて仏教が伝わった後漢時代の元号「永平」からきているそうです。道元の厳しい修行をすることの疑問を解決するための行動力には、すさまじいものがあつたのではと強く感じました。

道元が重要な修行の一つとしているのが「食」です。食事を作ること、食べることを真剣に行うことが仏教の心であると説いています。冒頭にも記した、どんな作物にも命があり、その命そのものの味を活かした作り方をすることが重要。味付けは「淡く」薄味で、素材の味をいただくこと。食す時には、「命をいただきます」という感謝の気持ちをもって食すのが大切なこと。このことは、食の作法を通して命を見つめなおし、愛情や思いやりを育む心として、命と向き合う時間と位置づけられています。

「米一粒も残してはいけない」「キャベツ一切れ残すものは、その一切れに泣く」などなど、子供の頃から教えられてきたことですが、大根一本まるごと葉も皮も捨てることなく使いきり、食材の命すべてと、そのものの味をいただくという、食の本質を理解して送る食生活が本来の「食育」であると感じました。地元小学校などでは、永平寺の食育が浸透し、町中でこの食育を未来に伝えていく活動が盛んです。

「道具は心の尖端だ」という教えがあります。『身体は人生の道具だ』と捉え、食育を通して「食生活」と「職生活」も大切にしたいと思います。